

- ◆日時：2023年4月9日（日） 10：00～12：00
- ◆会場：十日市場地区センター 2階小会議室 A
- ◆参加：池田、片山、佐々木、田中、中里、中島、樋口、山下、（8名）
（欠席：片上、早川、松崎、三浦、吉開）

1. 私の近状報告など

- ・田中さん：「新型コロナウイルスの検査キット」の手持ちがあり、希望者に譲渡可能。
- ・山下さん：鹿児島に帰郷し80歳の高校同窓会に出席、1/5の方は欠落していました。
- ・池田さん：①今年の花見は大岡川の遊覧船と目黒川で楽しみました。
②12年前の東北大地震被災地の復興状況を3月5名で視察、後日勉強会を予定。
- ・佐々木さん：寝正月で過ごしたため、体重が増加し運動不足になっている。
- ・中里さん：車を処分したため、買い物に苦労しています。
- ・中島さん：4/6NZから帰国、ワクチンパスポート確認対象は<日本と中国>の2国のみ。

2. テーマ：「ぷらっと kiricafe」の創設について・・・講師：高橋律夫さん

（霧が丘在住、福祉のまち霧が丘・代表）

プロフィール：81歳、広島出身で4才時に被ばく、広島に40年間と霧が丘40年の生活歴、霧が丘には多くの地域交流の場があり多くの仲間（大阪と比べ上品）ができた。交流は老人会組織を核として、ラジオ体操・歩こう会・友愛サロン・グランドゴルフ・囲碁将棋・バス旅行など。また、菜園管理・バザール・ジャイロなど多彩なグループの活動がある。



<kiricafe 創設の経緯など>

- ・目的：「地域の人と出会う・つながる」コミュニティの場となるカフェ「元気な後期高齢者+子育て世代+インドの仲間」をつなぎ、霧が丘に必要な居場所づくり
- ・設立費用：800万円（まち普請事業助成金500万円+クラウドF300万円）
- ・オープンなど：2023年1月13日、
NPO法人「霧が丘ぷらっとほーむ」が運営
- ・事業内容：Café、地場野菜販売、多文化・多世代の地域活動、
学習サポート、Kids英会話教室、車座トーク、

3. わいわいメンバー7名でCafé訪問

- ・NPO代表の根岸さんを含め子育て世代のお母さん数名が甲斐甲斐しくキッチンで活動。
- ・4/21当日のランチは和食、旬の食材が豊富なメニューで、料理屋さん以上の味わいでした。
- ・元気な高齢者が配膳係を担当し、多世代交流が生まれていました。
- ・今後の課題：NPO組織の運営基盤は、人材と資金運用が必要になる。

ボランティア人材と固定費（テナント費用と光熱費など）の安定的な運用の成否がポイント。



次回の定例会：5/14（日）10時～12時 十日市場地区センター 2階 小会議室 A
テーマ：「ニュージーランドのスローライフ」 担当：中島光明さん